



(収入確保)

**問 7.** これまでに、活動資金を確保するためにどのような手立てを講じましたか。(一つだけ○印)

1. 寄付金集めに力を入れた
2. 補助金・助成金・委託料(指定管理事業を含む。)申請に力を入れた
3. 独自事業収入の拡大に力を入れた
4. 会員拡大による会費収入の拡大に力を入れた
5. その他( )
6. 講じてこなかった

**副問 1.** 1～5を回答した方は、資金集めの努力に効果はありましたか。

1. 寄付金集めに力を入れた → a. 効果あり b. 効果なし
2. 補助金・助成金・委託料(指定管理事業を含む。)申請に力を入れた → a. 効果あり b. 効果なし
3. 独自事業収入の拡大に力を入れた → a. 効果あり b. 効果なし
4. 会員拡大による会費収入の拡大に力を入れた → a. 効果あり b. 効果なし
5. その他( ) → a. 効果あり b. 効果なし

**副問 2.** 副問 1 で効果があった理由、又は効果がなかったとした理由を教えてください。

( )

(ふるさと納税)

**問 8.** 今年度から、高知県へのふるさと納税を活用した、NPO法人を含む地域団体等の活動を支援する補助制度・「高知県地域活性化支援事業費補助金」が創設されましたが、活用してみたいと思いますか。(一つだけ○印)

1. 使いたい
2. 興味はあるがどうするか分からない
3. 制度の内容が分からないので判断できない
4. 利用するつもりはない

(人員体制)

**問 9.** 現在、貴団体が目標としている水準(レベル)で活動を実施するための人数は十分ですか。(それぞれ一つだけ○印)

- (1) 活動又は事業を企画・リードする中心メンバーの数
  1. 十分
  2. 不十分
- (2) 活動又は事業を実施する際に動いてくれる人の数
  1. 十分
  2. 不十分

(3) 組織を管理・運営するための事務局体制（事務局員数）

1. 十分      2. 不十分

(4) 活動や事業を支援してくれる専門家の数

1. 十分      2. 不十分

(5) 協働できる他のNPOや市民活動団体の数

1. 十分      2. 不十分

(会員数)

問 10. 貴団体の令和5年4月1日時点の会員数は何人ですか。また、そのうち法人会員数はいくつですか。

会員（          ）人    うち法人会員（          ）法人

副問 1. 平成31年4月1日時点と比べ、正会員数は増えていますか。（一つだけ○印）

1. 増えた      2. 減った      3. 変わらない

(会員年齢)

問 11. 個人会員（正会員）の中で、主に活動している年代はどれですか。（一つだけ○印）

1. 10歳代      2. 20歳代      3. 30歳代      4. 40歳代      5. 50歳代  
6. 60歳代      7. 70歳代以上

(実動人員の変化)

問 12. 活動又は事業に主体的・積極的に参画してくれる人の数は、活動開始当初と比べて増えましたか。（一つだけ○印）

1. 増えた      2. あまり変化ない      3. 減った

(活動頻度) \*宮城

問 13. 貴団体の平均的な活動の頻度はどのくらいですか。（最も当てはまるものに○印）

1. 週5日以上      2. 週2～5日未満      3. 週1日程度  
4. 月2～3日程度      5. 月1日程度  
6. 年に数回もしくは定期的には行っていない      7. 活動していない  
8. その他（          ）

副問 1. 「7 活動していない」と回答した方は、その理由は何ですか。（当てはまるものすべてに○印）

1. 活動資金の不足
2. 活動を担う人材の不足
3. 活動を担う主要メンバーの脱退
4. 活動を担う主要メンバーの高齢化
5. 団体の目的が不明瞭になったため
6. 団体の目的を達成したため
7. 法人設立後、間もないため
8. その他（ ）

(新型コロナの影響)

問 14. 徐々に社会経済活動もコロナ禍前に戻りつつありますが、コロナ禍前 (H31・R1(2019)年度) と比較して、貴団体の現在の活動状況はどうか。(一つだけ○印)

1. 活動は拡大している
2. 以前と変わらない
3. 縮小したまま推移している
4. 縮小しているが今後改善見込み
5. 活動休止中

(支援団体)

問 15. 現在、活動を連携して実施、又は支援してくれる事業者はいますか。(一つだけ○印)

1. いる
2. いない

(活動理解)

問 16. 貴団体のミッション(活動目的)や活動内容は、広く社会や地域の人々に理解されていると思いますか。(一つだけ○印)

1. 十分理解されている
2. ある程度理解されている
3. あまり理解されていない
4. 理解が不十分である

(広報・情報発信)

問 17. 貴団体の情報発信の主な方法は何ですか。(当てはまるものすべてに○印)

1. ホームページ
2. SNS (LINE、YouTube、Twitter、Instagram など)
3. チラシ配布
4. ポスター等の掲示
5. 新聞広告
6. テレビ放送・CM、ラジオ
7. 近隣や知人への声かけ
8. その他（ ）

(相談先)

問 18. 貴団体の活動や運営に関する相談先はどこですか。(当てはまるものすべてに○印)

1. 市町村
2. 中間支援組織(※)
3. 行政書士、税理士等の専門家
4. 金融機関
5. 他のNPO法人や任意団体
6. 大学などの教員
7. 相談先はない
8. その他（ ）

(※高知県ボランティア・NPOセンター、特定非営利活動法人高知県西部NPO支援ネットワーク、高知市市民活動サポートセンター、特定非営利活動法人環境の杜こうち)

(NPOセンター)

**問 19.** 高知県における社会貢献活動拠点センターである「高知県ボランティア・NPOセンター」(以下「センター」という。)が行う支援やサービスを利用したことがありますか。(一つだけ○印)

1. 定期的に利用している
2. 必要なつど利用している
3. あまり利用していない
4. 利用していない

**副問 1.** 「1 定期的に利用している」「2 必要なつど利用している」を選択した方は、具体的にどのような支援やサービスを利用していますか。(当てはまるものすべてに○印)

1. 法人設立相談
2. 運営に関する相談
3. イベント情報の収集
4. 専門家派遣
5. ピッチネット(ホームページ)による情報収集・情報発信
6. 助成金情報の収集
7. 会議室の貸し出し
8. 資源循環システム(企業等からの物品提供)
9. ボランティア保険の斡旋
10. 広報紙「てをつなGo」による情報収集・情報発信
11. NPOフォーラム開催等、交流の場づくり
12. その他( )

**副問 2.** 「3 あまり利用していない」「4 利用していない」を選択した方は、それはどうしてですか。(当てはまるものすべてに○印)

1. 利用したい支援やサービスがない
2. どんなサービスを提供しているか分からない
3. センターの存在を知らない
4. 他の団体や機関から支援を受けている
  - a. 高知市市民活動サポートセンター
  - b. NPO 法人高知県西部NPO支援ネットワーク
  - c. その他( )
5. 現在の活動を続けていくうえで必要性がない
6. その他( )

**副問 3.** センターが現在提供している支援やサービス以外に、どのような支援をセンターに期待しますか。

( )



**副問 2.** 「1 ある」と回答した方は、どのような課題に取り組みましたか。(当てはまるものすべてに○印)

1. 保健、医療又は福祉の増進
2. 社会教育の推進
3. まちづくりの推進
4. 観光の振興
5. 中山間地域の振興
6. 学術、文化、芸術又はスポーツの振興
7. 環境の保全
8. 災害救援
9. 地域安全活動
10. 人権の擁護又は平和の推進
11. 国際協力
12. 男女共同参画社会の形成促進
13. 子どもの健全育成
14. 情報化社会の発展
15. 科学技術の振興
16. 経済活動の活性化
17. 職業能力の開発又は雇用機会の拡充
18. 消費者保護
19. 他の団体の連絡、助言又は援助
20. その他 ( )

(災害準備)

**問 23.** 災害時における対応について、自ら取り組む、又は他の団体と連携して取り組む体制はできていますか。(一つだけ○印)

1. はい
2. いいえ

(後継者)

**問 24.** 現在の代表の方の後継者はいますか。(一つだけ○印)

1. いる
2. いない

(運営の課題)

**問 25.** 貴団体が活動・運営していくうえで、課題として考えることは何ですか。(最も当てはまるものに一つだけ○印)

1. 活動資金の不足
2. 会員等の人材不足
3. 団体の高齢化
4. 後継者の育成
5. 活動の認知
6. 助成金等の情報不足
7. 活動時間の確保
8. 活動場所の確保
9. 専門的知識の不足
10. 周囲の理解が十分でない
11. 他団体との連携・ネットワークづくり
12. 課題はない
13. その他 ( )

(行政支援)

**問 26.** 貴団体の運営の課題を解決するために行政の支援として期待するものは何ですか。(一つだけ○印)

1. 活動のための資金援助
2. 公共施設の無償化又は割引
3. 行政との協働の推進
4. 情報提供
5. 活動の広報支援
6. 県民への理解促進
7. リーダーなどの人材育成
8. 他法人との交流機会の確保
9. 専門的知識の研修
10. 活動のための人材の提供
11. 特になし
12. その他 ( )

(認定法人化の意向)

**問 27.** 将来、貴団体は認定NPO又は特例認定NPOになりたいですか。(一つだけ○印)

1. すでになっている
2. 申請準備中・検討中
3. 制度自体を知らない
4. 制度は知っているものの関心がない
5. 認定要件が厳しいため諦めている
6. その他 ( )

(ウェブ報告システムの利用意向)

**問 28.** 令和5年3月から、NPO法に基づく申請や届出等の手続きがオンラインでできる「ウェブ報告システム」が稼働していますが、利用したいと思いませんか。(一つだけ○印)

1. 使っている
2. 今はまだ使っていないが、いずれ使いたい
3. 使う予定はない
4. 分からない

**副問 1.** 「3. 使う予定はない」又は「4. 分からない」と回答した方について、  
そう回答した理由を教えてください。

( )